

2013 年度

日本学生ライフル射撃連盟

北海道支部

支部総会

日時：12月7日（土） 9：15 集合

9：30 開始

場所：北海学園大学

0. 目次

1. 2013 年度 事業報告
2. 2013 年度 會計報告
3. 2013 年度 選手強化委員会事業報告
4. 2013 年度 競技普及委員会事業報告
5. 2013 年度 競技審判委員会事業報告
6. 2013 年度 全日報告
7. 2014 年度 新幹事案
8. 2014 年度 事業計画
9. 2014 年度 予算案
10. 2014 年度 選手強化委員会事業計画
11. 2014 年度 競技普及委員会事業計画
12. 2014 年度 競技審判委員会事業計画
13. 2014 年度 全日計画
14. 表彰
15. 平成基金
16. 報告
17. 議題

1. 2013 年度 事業報告

3 月 9 日(土) 地方支部交流戦

~10 日(日)

(熊本県総合射撃場)

5 月 18 日(土) 植田杯争奪戦

19 日(日) 及び 春季北海道学生ライフル射撃選手権大会

(宮の沢屋内競技場)

6 月 14 日(金) 東日本学生ライフル射撃選手権大会

~16 日(日)

(宮の沢屋内競技場)

8 月 30 日(金) 全日本学生ライフル射撃選手権予選会

~9 月 1 日(日) 及び 全日本女子学生ライフル射撃選手権大会予選会

及び 宮の沢杯争奪戦

及び 夏季北海道学生ライフル射撃選手権大会

(宮の沢屋内競技場)

10 月 19 日(土) 秋学杯争奪戦

~20 日(日) 及び 秋季得点記録会

(宮の沢屋内競技場)

11 月 9 日(土) 幹事長杯争奪新人戦

10 日(日) 及び 卒部生引退戦

及び 最終戦

(宮の沢屋内競技場)

12 月 7 日(土) 日本学生ライフル射撃連盟北海道支部総会

(北海学園大学)

2. 2013 年度 会計報告

2013 年度会計報告

収入	
前年度繰越金	¥1,251,411
学連会費	¥678,000
エントリー代	
交流戦(宿泊代等含む)	¥217,000
全日	¥38,500
春学	¥95,000
東日本	¥823,000
夏学	¥108,000
秋録	¥74,000
新・引・最終戦	¥132,000
日ラ新規・移籍・継続料等	¥701,000
全日等交通費援助	¥345,120
射手手帳代	¥15,000
段級申請料	¥6,000
本部公認・地公認申請料	¥28,000
平成基金	¥20,000
合計	¥4,532,031

支出	
射場利用料	¥495,740
トロフィー・景品代	¥169,824
標的代	¥303,000
エントリー代	
交流戦(宿泊代等含む)	¥217,000
全日	¥38,500
日ラ新規・移籍・継続料等	¥702,000
全日等交通費援助	¥732,353
普及費	¥28,947
選手強化費	¥19,850
記録申請料	¥18,650
射手手帳代	¥15,000
本部公認・地公認申請料	¥38,000
段級申請料	¥6,000
事務用品・備品代	¥62,818
サーバー代	¥12,600
送料	¥29,026
振込手数料	¥2,815
雑費	¥19,634
平成基金	¥20,000
予備費	¥1,600,274
合計	¥4,532,031

3. 2013 年度 選手強化委員会事業報告

- 2 月 16 日(土) 学連練習会 (宮の沢屋内競技場)
8 月 24 日(土) 夏季学連練習会 (宮の沢屋内競技場)
25 日(日)
10 月 12 日(土) 学連合同選手強化練習会 及び 全日団結式 (宮の沢屋内競技場)

4. 2013 年度 競技普及委員会事業報告

- 3 月上旬 学連パンフレット作成
3 月下旬～ パンフレット配布
4 月 27 日(土) ライフル射撃体験見学会 (宮の沢屋内競技場)

5. 2013 年度 競技審判委員会事業報告

- 2 月 16 日(土) 地方公認審判員講習会 (宮の沢屋内競技場)

6. 2013 年度 全日報告

- 2012 年 12 月 9 日(日) 全日本学生ライフル射撃連盟総会

2013 年 10 月 17 日(木) 文部科学大臣賞争奪
~20 日(日) 第 60 回全日本学生ライフル射撃選手権大会
及び 文部科学大臣賞争奪
第 26 回全日本女子学生ライフル射撃選手権大会
(能勢町国体記念スポーツセンターライフル射撃場)

7. 2014 年度 新幹事案

幹事長	川 崎	雅 和	(北海道大学)
副幹事長	内 山	周 一	(北海道工業大学)
	金 道	松 太 郎	(北海学園大学)
競技普及委員長	工 藤	耕 生	(北海道大学)
選手強化委員長 兼 SB 主任	宮 崎	裕 子	(北海道大学)
競技審判委員長	揚 岩	洋 晃	(北海学園大学)
	佐々木	進 輔	(北海道大学)
企画幹事	西 村	彩 花	(北海道大学)
段級幹事 兼 競技普及補佐	湯 山	レ ミ	(北海道大学)
会計幹事	草 竹	大 輝	(北海道大学)
総務幹事	星 原	悠 希	(北海道大学)
	三 浦	密	(北海道工業大学)
普及	須 藤	広 太	(北海道大学)
企画	大 友	一 馬	(北海学園大学)
	佐 藤	吉 優	(北海道大学)
総務	野 村	祐 介	(北海学園大学)
管財	川 上	怜 子	(北海道大学)
	森 田	洋 平	(北海道大学)
運営	浅 里	仁 美	(北海道大学)
	中 垣	達 也	(北海道大学)
書記	長 岡	拓 哉	(北海道工業大学)
	宮 川	里 沙	(北海学園大学)

8. 2014 年度 事業計画

- 3 月 11 日(火) 地方支部交流戦
~13 日(木) (宮の沢屋内競技場)
- 5 月 17 日(土) 植田杯争奪戦
18 日(日) 及び 春季北海道学生ライフル射撃選手権大会
(宮の沢屋内競技場)
- 6 月 14 日(金) 東日本学生ライフル射撃選手権大会
~16 日(日) (宮城県ライフル射撃場)
- 8 月 29 日(金) 全日本学生ライフル射撃選手権予選会
~31 日(日) 及び 全日本女子学生ライフル射撃選手権大会予選会
及び 宮の沢杯争奪戦
及び 夏季北海道学生ライフル射撃選手権大会
(宮の沢屋内競技場)
- 11 月 1 日(土) 秋学杯争奪戦
2 日(日) 及び 秋季得点記録会 (宮の沢屋内競技場)
- 11 月 15 日(土) 幹事長杯争奪新人戦
16 日(日) 及び 卒部生引退戦
及び 最終戦 (宮の沢屋内競技場)
- 12 月 6 日(土) 日本学生ライフル射撃連盟北海道支部総会
(北海学園大学)

9. 2014 年度 予算案

2014 年度予算案

収入	
前年度繰越金	¥1,600,274
学連会費	¥680,000
エントリー代	
春学	¥100,000
夏学	¥110,000
秋録	¥80,000
新・引・最終戦	¥130,000
日ラ新規・移籍・継続料等	¥700,000
全日等交通費援助	¥150,000
射手手帳代	¥15,000
本部公認・地公認申請料	¥35,000
合計	¥3,600,274

支出	
射場利用料	¥270,000
トロフィー・景品代	¥100,000
標的代	¥100,000
日ラ新規・移籍・継続料等	¥700,000
全日等交通費援助	¥400,000
普及費	¥30,000
選手強化費	¥20,000
記録申請料	¥20,000
射手手帳代	¥15,000
本部公認・地公認申請料	¥45,000
事務用品・備品代	¥40,000
サーバー代	¥12,600
送料	¥5,000
振込手数料	¥3,000
雑費	¥20,000
予備費	¥1,819,674
合計	¥3,600,274

10. 2014 年度 選手強化委員会事業計画

- 2 月 15 日(土) 学連練習会 (宮の沢屋内競技場)
8 月 23 日(土) 夏季学連練習会 (宮の沢屋内競技場)
24 日(日)
10 月某日(未定) 学連合同選手強化練習会 及び 全日団結式
(宮の沢屋内競技場)

11. 2014 年度 競技普及委員会事業計画

- 3 月上旬 学連パンフレット作成
3 月下旬～ パンフレット配布
4 月 26 日(土) ライフル射撃体験見学会

12. 2014 年度 競技審判委員会事業計画

- 8 月 23 日(土) 地方公認審判員講習会 (宮の沢屋内競技場)

13. 2014 年度 全日計画

2014 年 12 月 14 日(日) 全日本学生ライフル射撃連盟総会

- 未定 文部科学大臣賞争奪
第 61 回全日本学生ライフル射撃選手権大会
及び 文部科学大臣賞争奪
第 27 回全日本女子学生ライフル射撃選手権大会
(埼玉県長瀬総合射撃場)

14. 表彰

2013 年度 日本学生ライフル射撃連盟北海道支部 十傑

10mARS60M				
1	佐々木 智也	北大	567	夏学
2	瀧澤 俊介	道工	564	春学
3	佐々木 勇輔	北大	557	秋録
4	嶋林 正晴	北大	555	全日
5	工藤 耕生	北大	548	全日
6	西村 純	北大	543(X=13)	夏学
7	久郷 優	北大	543(X=12)	春学
8	加藤 直也	北大	542	最終戦
9	藤野 寛史	北大	540(5S=90)	東日本
10	新藤 泰斗	北大	540(5S=89)	春学

10mARS40W				
1	永井 美祐	北大	380	全日
2	川俣 智美	北大	372(X=15)	東日本
3	阿部 千啓	北大	372(X=7)	夏学
4	宮崎 裕子	北大	365	春学
5	西村 彩花	北大	353	全日
6	大場 あかね	北大	350(X=7)	夏学
7	湯山 レミ	北大	350(X=3)	春学
8	松本 菜々恵	北大	346	夏学
9	宮川 里沙	学園	345	全日

10mARP60				
1	久郷 優	北大	610.9	最終戦
2	佐々木 智也	北大	599.5	春学
3	川崎 雅和	北大	596.0	春学
4	星原 悠希	北大	575.9	春学
5	草薙 一輝	北大	573.6	最終戦
6	工藤 耕生	北大	558.1	最終戦
7	草竹 大輝	北大	540.7	最終戦

対象試合

春学・東日本・夏学・全日・秋録・最終戦

10mAR3P60				
1	瀧澤 俊介	道工	569	最終戦
2	永井 美祐	北大	568	最終戦
3	宮崎 裕子	北大	552	最終戦
4	加藤 直也	北大	549	最終戦
5	工藤 耕生	北大	542	最終戦
6	久郷 優	北大	535	夏学
7	星原 悠希	北大	530	最終戦
8	井上 万紀	北大	527	最終戦
9	川崎 雅和	北大	520	最終戦

10mBRS60				
1	大森 愛美	学園	546	秋録
2	酒井 紀栄	北大	543	夏学
3	宮崎 裕子	北大	537	夏学
4	紺谷 亜耶	北大	532(6S=98)	夏学
5	仲尾 仁美	北大	532(6S=90)	新人戦
6	新保 純也	北大	531	新人戦
7	牛尾 佳那子	北大	529	新人戦
8	藤野 寛史	北大	515(6S=91)	夏学
9	浅里 仁美	北大	515(6S=86)	新人戦
10	大石 雄一郎	北大	514	秋録

10mARK20				
1	瀧澤 俊介	道工	185	最終戦
2	加藤 直也	北大	184	最終戦
3	久郷 優	北大	182	夏学
4	嶋林 正晴	北大	175	最終戦

50mSBP60				
1	佐々木 智也	北大	566	東日本
2	川俣 智美	北大	555	夏学

平成25年度日本学生ライフル射撃連盟北海道支部 最優秀選手
平成25年度日本学生ライフル射撃連盟北海道支部 新人王

該当者なし
北海学園大学 大友 一馬

15. 平成基金

《参考文献》

平成基金設立書

日本学生ライフル射撃連盟北海道支部基金

設立規定

- ・この基金は、日本学生ライフル射撃連盟北海道支部の会計が、猶予ならざる状況に面した場合、それを回避する手段として設立するものである。
- ・ 出資は、有志とする。出資資格者は、日本学生ライフル射撃連盟北海道支部に属し、その年度に学生としての射撃資格を終了するものとする。
- ・ 役員として、理事長、理事長代行、理事を置く。理事長代行は、その年度の日本学生ライフル射撃連盟北海道支部幹事長が、その任にあたる。
- ・ 基金の管理は、その年度の日本学生ライフル射撃連盟北海道支部企画会計幹事が行う。
- ・ 基金を運用する場合、他の理事と同席、協議の上、理事長がそれについて決定し、その責任は理事会が負うものとする。
- ・ この設立書は、平成元年12月9日よりその効力を発する。

平成基金運営規則

1. 常任理事は、本基金設立に関与した者の他、非常任理事として、その年度の日本学生ライフル射撃連盟北海道支部幹事長、副幹事長、各幹事、及び各加盟校主将が、その任にあたるものとする。
2. 理事会役員として、理事長、理事長代行、理事を置く。理事長代行は、その年度の日本学生ライフル射撃連盟北海道支部幹事長が、その任にあたる。

3. 理事長代行は、理事長と同等の権限を有するが、理事長に代わり理事会を招集した場合は、その結果を理事長に対して行わなければならない。
4. 理事会は、理事長を含める3分の2以上の出席を以ってその効力をもちえる。尚、非常任理事のうち、役職を兼任しているものについては、其の役職の数で以って定数とすることができる。
5. 理事会は、年1回の決算報告以外は、招集を不定期とし、その招集は理事長のみが行えるものとする。
6. 理事長が欠けた場合は、日本学生ライフル射撃連盟北海道支部に属していたもので理事経験者の中から、後任を選ぶこととする。常任理事も同様の方法で後任を選ぶものとする。
7. 出資金は一口5千円とし、出資者一人につき一口以上を出資できる。
8. 日本学生ライフル射撃連盟北海道支部は、出資者の名簿を作成し、その保管は、その年度の同支部幹事長が行う。また、その名簿は一般に公開してはならない。
9. 基金の使用は、日本学生ライフル射撃連盟北海道支部の会計の支払能力を大幅に上回る債務があり、また、それが回避できない状況にあると理事会で認められた場合にのみ認められる。
10. この基金を運用した場合は、日本学生ライフル射撃連盟北海道支部の会計より同額を返済しなくてはならない。返済期間などは、基金運用決定時に理事会において決定する。
11. 本設立書、及び、運営規則は、理事会の発議により日本学生ライフル射撃連盟北海道支部総会において3分の2以上の多数を以って改正することが出来る。
12. 改正が行われた場合は、ただちに理事全員にその報告を行わなければならない。

16. 報告

- ・強化選手制度について
- ・東日本会計報告
- ・役員への援助について
- ・SCATT の導入について
- ・サイドパネルの規定について
- ・地方支部交流戦経過報告
- ・学連 60 周年記念事業について

17. 議題

- ・学連北海道支部規約について
- ・平成基金改正の提案
- ・副種目における人数制限の提案
- ・女子ファイナルの実施基準について
- ・銃器手入れ室設置について
- ・支部長の推薦